

静岡県月例経済報告

(令和8年9月号)

……令和8年7月を中心とした県内経済のすがた……

No. 605



**BLUE
ECONOMY
EXPO**
@Suruga Bay



— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・ 需要面	7
・ 生産面	15
・ 雇用面	17
・ その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た っ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和8年7月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和8年7月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、中東情勢の影響による燃料・石油関連製品の価格高騰や調達の不安定化など景気を下押しするリスクに留意が必要である。また、雇用・所得環境や金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、増勢が鈍化している。
- ・ 生産は、横ばいとなっている。

（下線部は前月からの変更箇所）

需 要 面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。」

大型小売店販売額（7月）は、百貨店が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、スーパーが2か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額（7月）は、コンビニエンスストアが2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターがいずれも2か月ぶりに前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

自動車新規登録・販売台数（7月）は、乗用車が4か月連続、軽自動車も3か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも4か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数（7月）は、持家が2か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家が2か月ぶり、分譲住宅が3か月ぶりに前年実績を下回ったため、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、増加している」

日銀短観（6月調査）の令和8年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（7月）は、5か月連続で前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(7月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、増勢が鈍化している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額(7月)は、自動車(7か月ぶり)、自動車の部分品(12か月ぶり)、エアコン、科学光学機器がいずれも9か月連続、二輪自動車類が3か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額(7月)は、木材が2か月ぶり、パルプが11か月連続、紙類及び同製品が3か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が2か月ぶり、魚介類及び同調製品が8か月連続、自動車の部分品が2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、943億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数(7月)は、パルプ・紙・紙加工品が4か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、電気機械、輸送機械がいずれも2か月連続、化学が6か月連続、食料品・たばこが4か月連続で前年水準を上回った。総合では、2か月連続で前年水準を上回った。なお、前月比は2か月ぶりに増加した。

鉱工業在庫指数は、総合では3か月ぶりに前年実績を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(7月)は1.10倍となり、前月を0.02ポイント上回った。66か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.08ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(7月)は、14か月ぶりに前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(6月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(7月)は、前年同月比 1.9%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(7月)は、前年同月比 7.7%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った」

企業倒産(7月)は、件数は29件(前年同月比 45.0%増)と前年実績を上回った。負債総額は3,202百万円(前年同月比 9.8%減)と前年実績を下回った。

静岡発、 ブルーエコノミーが 世界を動かす

From Shizuoka to the World —
Driving the Blue Economy



BLUE
ECONOMY
EXPO
@ Suruga Bay

【併催イベント】
ROV展示・デモンストレーション

OceanBiz 2026 in SHIZUOKA

2026
10.22^木-23^金

各日 10:00-16:00 (予定)

会場 清水港 日の出地区

水中ドローン、関連技術等の展示及び
デモンストレーションを開催。

海洋関連産業の展示 & プレゼンテーション

海のEXPO

@駿河湾

2026
10.22^木-23^金

11:00-17:00 10:00-16:00

会場 清水マリナターミナル

(清水港 日の出地区)

- 企業・アカデミア等による展示・プレゼンテーション
- 出展団体との商談・マッチング機会の提供

自治体による海洋に関する取組の発表

ローカルエリア ネットワーク会議

2026
10.23^金

13:00-15:00

会場 清水マリナターミナル

(清水港 日の出地区)

海洋をターゲットとした産業振興に
取り組む自治体等の事例を紹介します。

ブルーエコノミー国際会議

海の未来会議

@駿河湾

2026
10.23^金
9:45-17:30

会場 グランシップ11階
会議ホール「風」
(静岡県コンベンションアーツセンター)

● 基調講演

Chris Bowler 教授
(英国王立協会フェロー)

CNRSリサーチディレクター &
パリ高等師範学校 (IBENS)
Phytogenomics Labディレクター

● 講演・国内外の事例紹介 ほか



入場無料
事前登録制

※開催時間・内容は変更となる場合がございます。詳細・最新情報は、特設サイトにてご確認ください。



日本最大級！約**130**社がふじさんめっせに集結!!

静岡県セルロース 循環経済国際展示会 *in 富士*

植物の力で、未来をつくる。
セルロースからつなぐ循環の新時代へ。

 開催期間

2026年 **10月22日** 木 **10月23日** 金
13:00~16:00 9:30~16:00

 会場

ふじさんめっせ大展示場
静岡県富士市柳島189-8（新富士駅から徒歩7分）

参加
無料

スマホで1分!
こちらから事前登録を
お願いします。



事前登録制

開催
内容

- 1 CNF・セルロースの最前線に触れる!企業・団体ブース（約130社・団体）
- 2 最先端の取組をショートピッチ!企業プレゼンテーション（37社・団体）
- 3 植物素材を活用したモビリティ展示
- 4 見て、触って、聴いて楽しむ!セルロースを五感で体験するコーナー
- 5 食べて驚く!ミライの食感ーCNF関連食品・スイーツ販売コーナー
- 6 見逃せない注目ブースを厳選紹介!国際展示会ガイド付きツアー

前日
開催

【一般公開セミナー】CNFとは?ー企業・アカデミアから問い直すー

10月21日 水 13:00~18:00 | 会場 | ふじさんめっせ 会議室
※オンライン配信あり

参加登録はこちら▼

参加
無料



主催者

静岡県（静岡県セルロース循環経済フォーラム）
富士市（富士市CNFプラットフォーム）

後援
（予定）

経済産業省／環境省／ナノセルロースジャパン／
京都市産業技術研究所／京都大学／四国CNFプラットフォーム／
薩摩川内市／晴れの国CNF連絡会／みやぎCNFプロジェクトチーム

お問い合わせ

静岡県先端技術振興課

TEL. 054-221-3622

E-mail. sengi@pref.shizuoka.lg.jp

Shizuoka
Growth
100

挑む企業が、
静岡の未来をつくる。

静岡 100 億企業創出 シンポジウム

このまちの挑戦が、日本の未来を動かす。

株式会社ナンガ
代表取締役 横田 智之 氏

株式会社丸総
代表取締役社長 橋口 智規 氏

2026

10.13

Tue.

14:30-17:30

受付開始

14:00

📍 静岡理工科大学 静岡駅前キャンパス 4F ホール

参加無料 | 先着 100 名

申込締切：2026.10.9 Fri. 17:00

参加申し込み
はこちら



静岡県は

パートナーシップ構築宣言

を促進しています

県では、適切な価格転嫁の機運醸成や取引適正化に向けて、令和5年6月7日に産官労の13団体で「パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言」を行い、参画団体が連携して取組を進めてきました。

この取組をより一層推進するため、令和7年9月9日、新たに金融2団体が参画し、内容を拡充した共同宣言(裏面)を発出しました。

パートナーシップ 構築宣言とは



「パートナーシップ構築宣言」は、サプライチェーンの取引先や付加価値向上を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを、「発注者」側の立場から企業の代表者の名前で宣言するものです。



▲ 共同宣言式の様子(令和7年9月9日)

パートナーシップ構築宣言登録数 (R8. 8. 31時点)

全国
7位

県内

4,978社

全国

106,147社

優遇措置・メリット

パートナーシップ構築宣言を宣言・登録した企業は、以下のような優遇措置・メリットが受けられます！

- 県補助金の加点措置等
- 企業イメージの向上
- 官公需における公契約条例に基づく優先発注
- 取引先との信頼関係構築

登録後にお願いしたいこと

パートナーシップ構築宣言の登録後も、宣言の実効性向上のため、以下の取組をお願いします

- 社内外への宣言の周知
- 定期的な宣言内容の見直し
- 宣言内容の実行
- 代表者や担当者等、登録情報が変更になった場合の登録変更

静岡県「パートナーシップ構築宣言」ホームページ
静岡県 経済産業部 商工業局 商工振興課
TEL : 054-221-2182
URL : <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1054361.html>



「パートナーシップ構築宣言」の登録はこちら
(公財)全国中小企業振興機関協会
TEL : 03-6228-3802
<https://www.biz-partnership.jp/>



Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

7 月 = 40,525百万円

* 前年同月比： 0.2%減

(県内3百貨店、166スーパー合計)

<概 況>

7月の大型小売店販売額は40,525百万円で、前年同月比 0.2%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 4.6%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、スーパー（同 0.9%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（同 1.3%増）が19か月ぶり、家庭用品（同 2.9%増）が2か月ぶり、身の回り品（同 6.5%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、飲食料品（同 1.0%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.8%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7年12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販 売 額 (百 万 円)	48,140	41,546	36,973	40,370	38,153	40,594	38,464	40,525
前 年 同 月 比 (%)	0.8	3.7	3.6	▲ 0.5	▲ 0.5	2.0	▲ 3.4	▲ 0.2
うち 百貨店 (%)	▲ 2.5	0.7	1.7	▲ 0.2	1.7	6.8	▲ 1.4	4.6
スーパ- (%)	1.5	4.2	3.9	▲ 0.6	▲ 0.8	1.3	▲ 3.7	▲ 0.9
(参考1) 全国前年同月比 (%)	▲ 0.1	2.6	1.8	1.1	2.0	5.0	▲ 1.0	1.4
うち 百貨店 (%)	▲ 1.0	2.4	2.0	3.4	5.6	8.8	2.7	5.6
スーパ- (%)	0.4	2.6	1.8	0.3	0.8	3.6	▲ 2.3	▲ 0.1
(参考2) 県前年同月比 (店舗数調整前)	0.6	2.7	1.9	▲ 0.4	0.8	3.7	▲ 1.4	1.8

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 7年12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣 料 品	▲ 24.1	▲ 4.8	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 4.8	▲ 1.4	▲ 15.3	1.3
うち 紳士服・洋品	▲ 31.0	▲ 10.7	▲ 12.9	▲ 14.3	▲ 11.9	▲ 9.8	▲ 24.6	▲ 5.5
婦人・子供服・洋品	▲ 20.0	▲ 2.8	▲ 7.3	▲ 5.8	▲ 3.2	0.8	▲ 13.0	0.6
身 の 回 り 品	▲ 20.3	▲ 5.5	▲ 1.8	▲ 20.3	▲ 11.3	▲ 5.2	1.9	6.5
飲 食 料 品	3.2	4.3	3.3	▲ 0.9	▲ 1.2	0.2	▲ 2.0	▲ 1.0
家 庭 用 品	▲ 11.5	2.5	8.8	3.1	▲ 0.8	13.9	▲ 16.8	2.9
うち家庭用電気機械器具	7.4	17.7	34.6	19.9	17.0	35.1	▲ 15.6	11.6

(注) 店舗数調整済、全月速報値

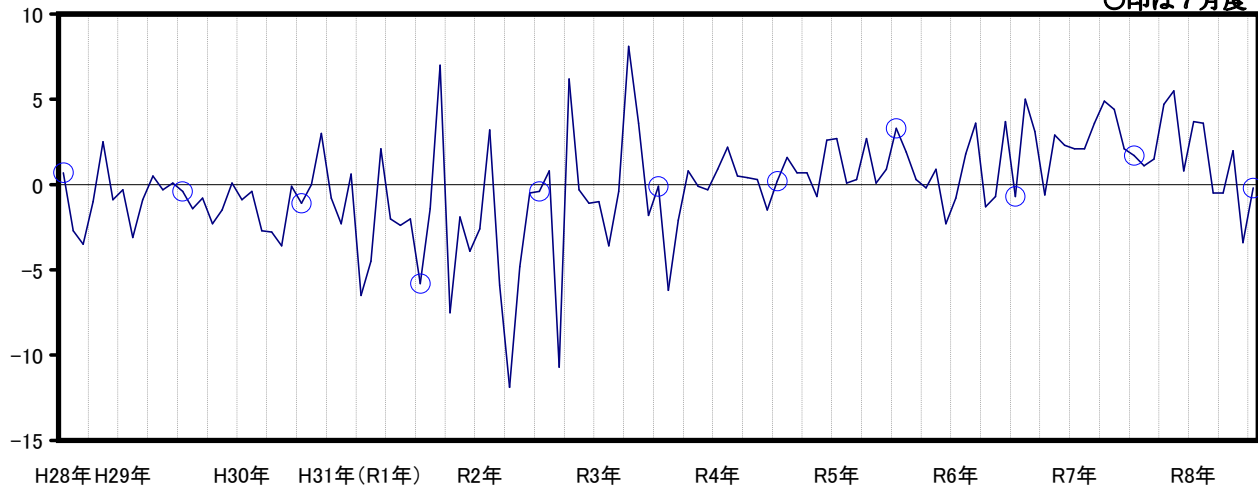
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比 (%)

<資料>経済産業省

○印は7月度



(2) 専門量販店等販売額

7 月 = 87,251百万円

* 前年同月比： 2.3%増

(県内91家電大型専門店、1,673コンビニエンスストア、632ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概 況>

7月の専門量販店等販売額は87,251百万円で、前年同月比 2.3%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比 0.2%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 16.2%増）、ドラッグストア（同 1.2%増）、ホームセンター（同 0.4%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
販 売 額 (百 万 円)	89,670	79,645	73,609	85,619	80,355	85,229	78,583	87,251
前 年 同 月 比 (%)	▲ 0.3	3.7	2.7	2.4	3.7	6.4	▲ 3.9	2.3
うち 家電大型専門店 (%)	▲ 2.6	11.9	4.0	3.0	10.3	28.4	▲ 9.5	16.2
コンビニエンスストア (%)	0.5	1.3	1.8	2.3	0.0	1.7	▲ 1.8	▲ 0.2
ドラッグストア (%)	1.2	3.8	4.3	2.6	5.6	4.9	▲ 1.6	1.2
ホームセンター (%)	▲ 6.0	2.3	▲ 1.6	1.1	4.2	8.8	▲ 13.7	0.4
(参考) 全国前年同月比 (%)	1.5	3.8	3.0	3.9	4.6	7.8	▲ 1.6	3.3

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

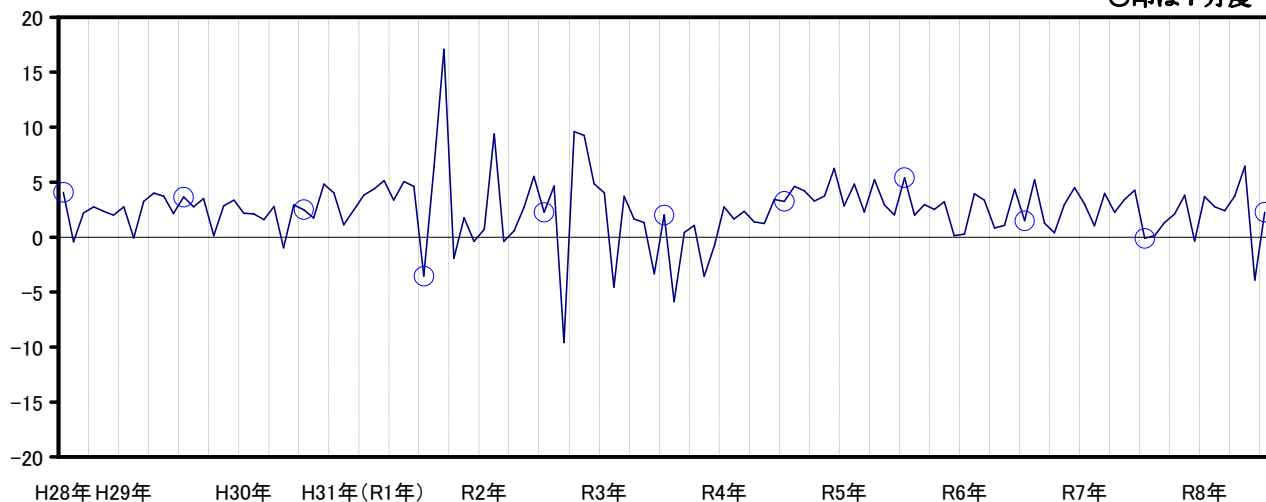
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比 (%)

<資料>経済産業省

○印は7月度



(3) 自動車新規登録・販売台数

7 月 = 12,650 台

* 前年同月比： 8.2%増

(乗用車新規登録台数、軽乗用車新規販売台数合計)

<概 況>

7月の自動車新規登録・販売台数は、12,650台で、前年同月比 8.2%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車（前年同月比 13.2%増）が4か月連続、軽自動車（同 0.1%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
新規登録・販売台数(台)	10,982	11,930	13,481	15,422	11,132	10,227	13,025	12,650
前 年 同 月 比 (%)	2.8	▲ 9.8	▲ 7.0	▲ 2.6	4.5	4.5	5.1	8.2
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 0.8	▲ 6.2	▲ 7.3	▲ 3.2	9.7	2.8	9.5	7.7

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(注) 新規登録・販売台数は、乗用車と軽乗用車の合計値

<車種別新車新規台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
新 規 登 録 ・ 販 売 台 数	2.8	▲ 9.8	▲ 7.0	▲ 2.6	4.5	4.5	5.1	8.2
乗 用 車	6.0	▲ 11.7	▲ 10.5	▲ 7.3	16.8	3.8	7.7	13.2
軽 自 動 車	▲ 1.3	▲ 7.0	▲ 2.0	5.1	▲ 12.2	5.6	1.2	0.1

<資料>県税務課、全国軽自動車協会連合会

(注1) 新規登録・販売台数は、乗用車と軽自動車の合計値を元に算出

(注2) 乗用車は、新車新規登録台数の内、小型乗用車と普通乗用車の合計値を元に算出

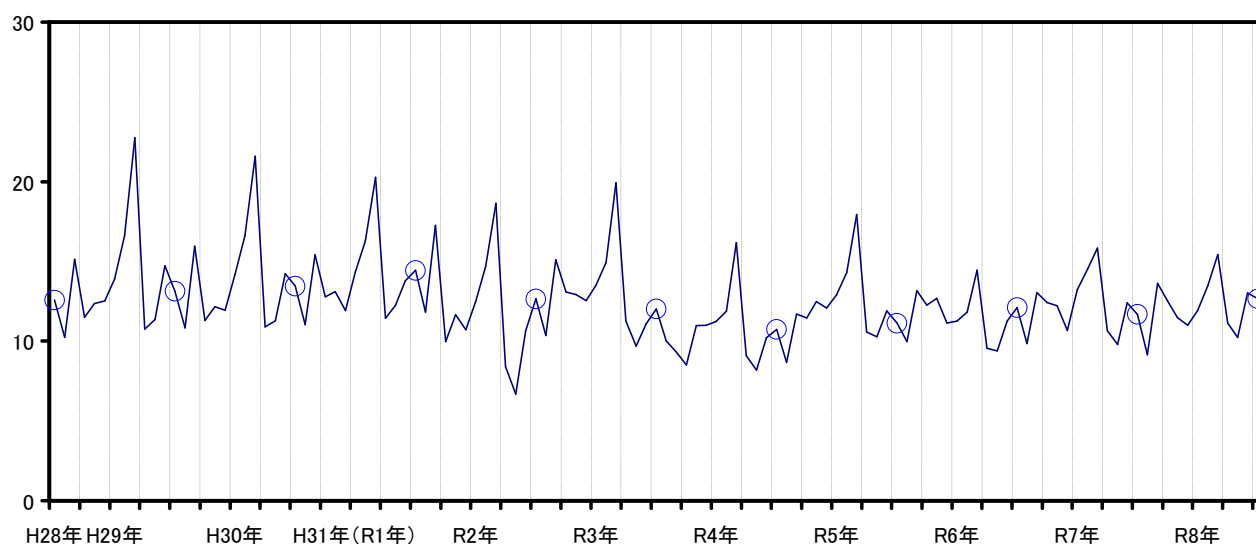
(注3) 軽自動車は、新車新規販売台数の内、乗用車を元に算出

<過去10年間の推移>

自動車新規登録・販売台数(千台)

<資料>県税務課、全国軽自動車協会連合会

○印は7月度



2 新設住宅着工戸数

7 月 = 1,535 戸

* 前年同月比： 7.6%減

<概 況>

7 月の新設住宅着工戸数は1,535戸で、前年同月比 7.6%減となり、2 か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 1.3%増）が2 か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家（同 15.3%減）が2 か月ぶり、分譲住宅（同 14.6%減）が3 か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
戸 数 (戸)	1,456	1,316	1,261	1,371	1,573	1,148	1,659	1,535
前 年 同 月 比 (%)	39.1	▲ 34.0	▲ 8.7	▲ 10.1	11.4	▲ 2.2	21.6	▲ 7.6
うち 持 家 (%)	17.1	▲ 20.9	▲ 20.2	▲ 1.8	12.3	▲ 0.7	20.8	1.3
貸 家 (%)	153.5	▲ 45.4	30.2	▲ 33.6	41.6	▲ 8.8	12.4	▲ 15.3
分譲住宅 (%)	25.5	▲ 28.8	▲ 31.5	23.5	▲ 15.3	6.2	54.1	▲ 14.6
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 1.3	▲ 0.4	▲ 4.9	▲ 29.3	11.4	33.9	18.6	8.2

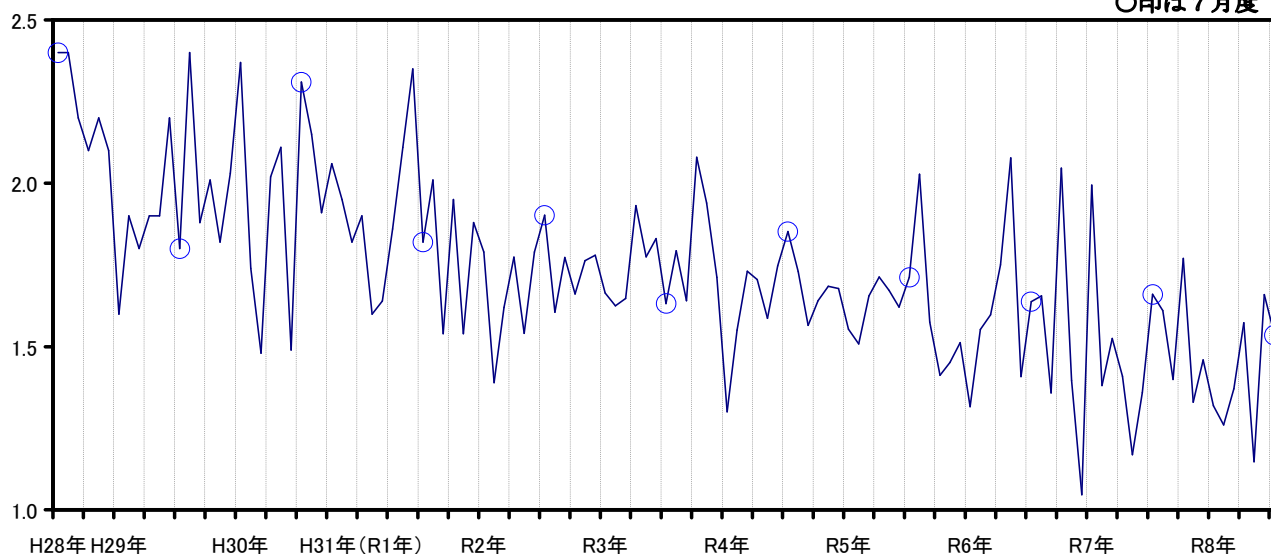
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は7月度



3 設備投資

＜概 況＞

令和7年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加した。

令和8年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 6.6%増）、非製造業（同 3.4%増）、全産業（同 5.3%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 5.5%増）、非製造業（同 6.5%増）、全産業（同 5.7%増）においていずれも増加する計画となっている。

7月の着工建築物床面積（非居住用）は119,714㎡で、前年同月比 33.5%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

＜企業短期経済観測調査結果＞（前年度比％（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R7年度 (実績)	R8年度 (計画)
全産業	県	(▲ 5.5) 7.5	(▲ 1.6) 5.3
	全国	(1.4) 9.4	(6.8) 6.8
製造業	県	(▲ 7.8) 11.4	(▲ 4.9) 6.6
	全国	(▲ 0.3) 9.5	(4.5) 7.5
非製造業	県	(▲ 2.1) 2.4	(3.5) 3.4
	全国	(2.3) 9.3	(8.2) 6.4

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R7年度 (実績)	R8年度 (計画)
全産業	県	(▲ 3.6) 7.5	(0.9) 5.7
	全国	(0.6) 8.5	(6.6) 8.8
製造業	県	(▲ 4.3) 9.0	(▲ 0.3) 5.5
	全国	(0.2) 7.9	(4.1) 7.2
非製造業	県	(▲ 0.3) 1.8	(6.5) 6.5
	全国	(1.1) 9.1	(9.2) 10.5

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

＜資料＞ 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和8年6月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査（令和8年6月調査）」

＜最近の動き＞

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	51,895	68,568	49,992	92,180	97,858	115,836	68,019	119,714
前年同月比（％）	▲ 4.0	▲ 57.6	▲ 27.9	113.3	12.6	27.0	95.0	33.5
（参考）全国前年同月比（％）	▲ 5.9	3.2	▲ 11.0	▲ 12.3	▲ 26.1	▲ 26.2	4.1	12.1

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

＜資料＞国土交通省

＜参考 県内企業の業況判断D. I. ＞

		R 8 年3月	R 8 年6月	R 8 年9月 (予測)
全 産 業		8	9	▲ 1
	製 造 業	▲ 1	▲ 2	▲ 6
	非 製 造 業	17	20	4
(参考) 全国 ・ 全産業		18	18	11

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比％ポイント

＜資料＞ 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和8年6月調査）」

4 公共工事請負金額

7 月 = 35,335百万円

* 前年同月比： 5.3%減

(建設保証会社保証実績)

＜概 況＞

7月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は35,335百万円で、前年同月比 5.3%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は725件で、前年同月比12.9%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

＜最近の動き＞

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
金 額 （ 百 万 円 ）	24,559	10,667	8,504	28,173	54,760	47,664	40,434	35,335
前 年 同 月 比 （ % ）	116.0	▲ 30.2	▲ 35.1	▲ 10.6	▲ 16.3	9.4	▲ 22.1	▲ 5.3
年度累計前年同月比（%）	16.6	14.2	12.2	10.1	▲ 16.3	▲ 6.0	▲ 11.2	▲ 10.1
件 数 （ 件 ）	394	238	138	357	481	572	645	725
前 年 同 月 比 （ % ）	▲ 4.4	▲ 8.8	▲ 28.1	▲ 33.9	8.1	5.5	▲ 9.3	▲ 12.9
年度累計前年同月比（%）	▲ 5.4	▲ 5.5	▲ 6.2	▲ 8.3	8.1	6.7	0.0	▲ 4.2

＜資料＞東日本建設業保証(株)静岡支店

＜発注者別請負金額前年同月比の推移＞

(単位：%)

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
国	66.2	63.3	▲ 28.5	41.2	65.1	7.6	42.3	▲ 19.0
独立行政法人等	7,807.0	▲ 98.3	40.9	310.3	▲ 10.2	▲ 30.5	▲ 66.3	▲ 28.2
県	▲ 15.5	▲ 1.6	▲ 61.3	▲ 48.3	▲ 33.4	40.2	▲ 51.5	▲ 13.8
市 町	7.7	▲ 51.2	▲ 28.0	▲ 12.3	▲ 13.3	▲ 17.6	▲ 9.7	14.1
地方公社	6,848.3	-	-	-	-	6.6	▲ 14.4	-
その他	▲ 46.0	▲ 67.9	▲ 54.6	▲ 77.0	▲ 9.9	187.4	▲ 66.3	▲ 36.1

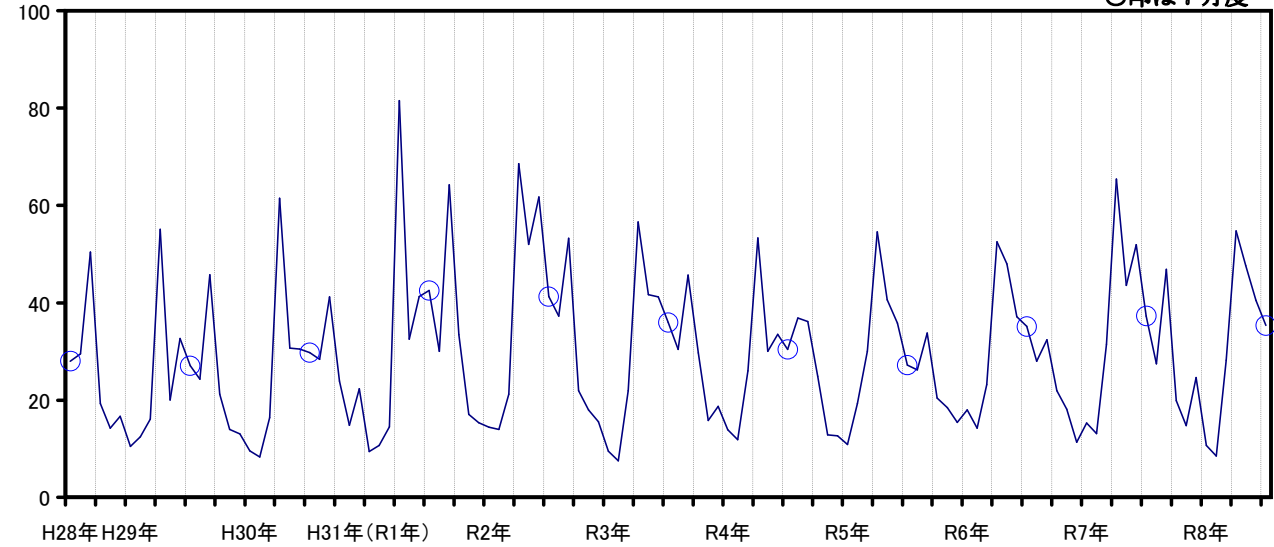
＜資料＞東日本建設業保証(株)静岡支店

＜過去10年間の推移＞

公共工事請負金額(十億円)

＜資料＞東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は7月度



5 輸出

7 月 = 240,650百万円

* 前年同月比： 5.9%増

(清水税関支署管内通関実績)

＜概 況＞

7月の清水税関支署管内の輸出総額は240,650百万円で、前年同月比 5.9%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 6.4%減）が7か月ぶり、自動車の部分品（同 4.9%減）が12か月ぶり、エアコン（同 30.5%減）、科学光学機器（同 41.1%減）がいずれも9か月連続、二輪自動車類（同 3.9%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 2.2%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（同 13.4%増）が2か月ぶり、アジア向け（同 7.0%増）が8か月連続、EU向け（同 8.3%増）が12か月連続で前年実績を上回った。

＜最近の動き＞

	R 7年12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸 出 総 額（百 万 円）	256,426	204,677	234,891	239,646	250,835	198,963	248,608	240,650
前 年 同 月 比（%）	5.9	24.8	6.9	9.8	12.8	8.5	14.3	5.9
（参考）全国前年同月比（%）	5.1	16.8	4.2	11.7	14.8	17.0	19.3	23.2

＜資料＞清水税関支署

＜主要品目別前年同月比の推移＞

(単位:%)

	R 7年12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原 動 機	▲ 4.3	▲ 19.5	▲ 19.8	▲ 7.6	▲ 6.0	▲ 1.1	9.2	2.2
エ ア コ ン	▲ 40.8	▲ 6.0	▲ 34.6	▲ 53.7	▲ 10.7	▲ 35.3	▲ 48.3	▲ 30.5
自 動 車	▲ 7.5	65.7	15.5	74.6	17.7	70.7	41.9	▲ 6.4
自 動 車 の 部 分 品	47.8	41.6	26.8	32.2	26.0	4.2	11.0	▲ 4.9
二 輪 自 動 車 類	9.3	99.9	11.0	▲ 2.7	1.4	▲ 3.7	▲ 12.4	▲ 3.9
科 学 光 学 機 器	▲ 9.9	▲ 15.6	▲ 37.8	▲ 29.3	▲ 30.2	▲ 28.4	▲ 35.6	▲ 41.1

＜資料＞清水税関支署

＜地域別前年同月比の推移＞

(単位:%)

	R 7年12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
ア ジ ア	19.6	20.8	5.7	18.0	17.4	7.4	22.7	7.0
米 国	▲ 9.5	17.6	▲ 13.0	▲ 4.5	2.5	9.2	▲ 1.5	13.4
E U	1.3	53.2	13.5	7.4	19.6	12.7	16.5	8.3

＜資料＞清水税関支署

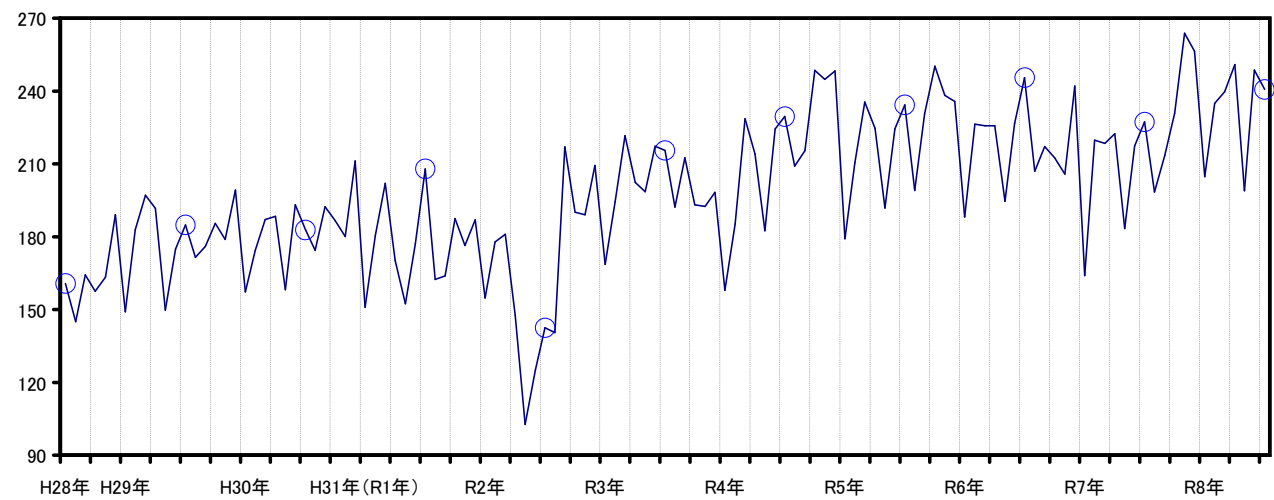
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

＜過去10年間の推移＞

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

＜資料＞清水税関支署

○印は7月度



6 輸入

7 月 = 146,382百万円

* 前年同月比： 11.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概 況>

7月の清水税関支署管内の輸入総額は146,382百万円で、前年同月比 11.0%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 7.5%減）が2か月ぶり、パルプ（同 7.7%減）が11か月連続、紙類及び同製品（同 14.5%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 28.3%増）が2か月ぶり、魚介類及び同調製品（同 5.5%増）が8か月連続、自動車の部分品（同 2.5%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、米国から（同 19.6%減）、EUから（同 9.4%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 16.9%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7年12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸入総額（百万円）	127,008	137,578	125,104	117,328	145,642	125,214	156,071	146,382
前年同月比（%）	5.4	▲ 1.7	24.0	0.1	20.6	▲ 6.4	25.5	11.0
（参考）全国前年同月比（%）	5.3	▲ 2.5	10.2	10.9	9.7	12.5	25.4	27.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 7年12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
魚介類及び同調製品	21.8	5.1	79.2	8.8	20.6	12.9	73.6	5.5
木材	21.9	78.2	24.6	2.6	▲ 6.9	▲ 32.2	8.3	▲ 7.5
パルプ	▲ 25.4	▲ 4.3	▲ 33.1	▲ 12.8	▲ 4.9	▲ 21.4	▲ 2.2	▲ 7.7
紙類及び同製品	▲ 17.6	▲ 7.5	23.7	▲ 13.3	8.9	▲ 15.2	▲ 15.9	▲ 14.5
原動機	12.1	▲ 11.9	29.3	16.1	▲ 30.8	24.2	▲ 9.7	28.3
自動車の部分品	21.8	▲ 1.5	46.8	30.8	0.4	▲ 10.2	5.8	2.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 7年12月	R 8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	23.3	▲ 7.0	43.9	▲ 9.0	20.2	▲ 0.4	27.0	16.9
米国	▲ 9.9	▲ 33.7	▲ 9.5	▲ 9.7	30.7	▲ 16.7	7.2	▲ 19.6
EU	▲ 9.3	3.5	49.9	27.8	▲ 4.1	▲ 13.3	42.1	▲ 9.4

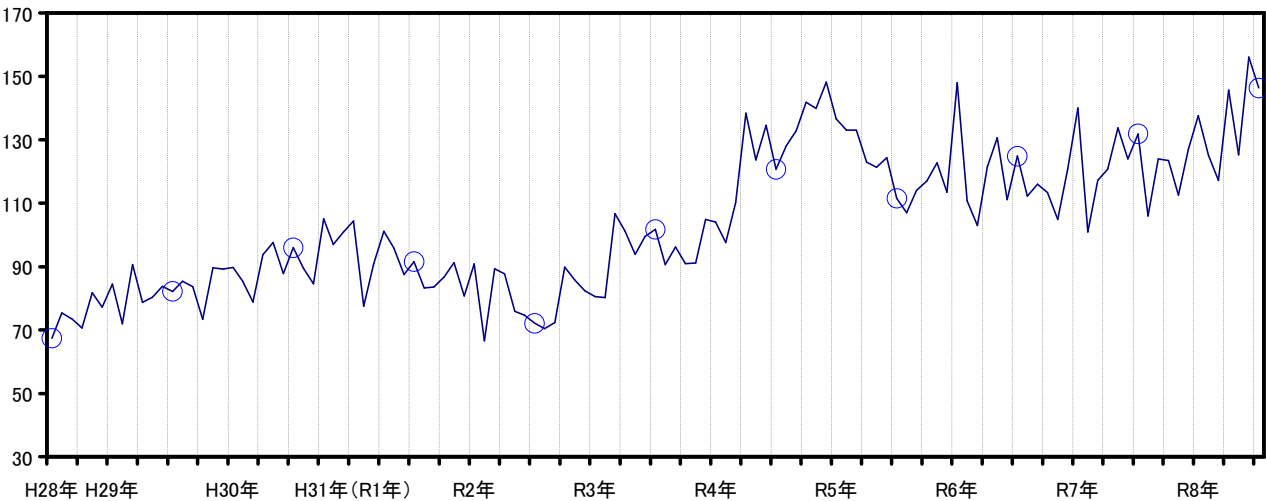
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は7月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

7 月 = 99.5

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.8%増

*前年同月比(原指数) : 5.9%増

<概況>

7月の鉱工業生産指数(総合)は99.5(季節調整済指数)で、前月比は1.8%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は5.9%増と、2か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品(前年同月比1.5%減)が4か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同9.1%増)、電気機械(同1.8%増)、輸送機械(同1.0%増)がいずれも2か月連続、化学(同14.0%増)が6か月連続、食料品・たばこ(同16.3%増)が4か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R7年12月	R8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	92.9	99.2	98.7	98.7	99.7	102.9	97.7	99.5
前月比(%)	▲2.5	6.8	▲0.5	▲0.5	1.0	3.2	▲5.1	1.8
前年同月比(%)	0.9	▲0.7	1.6	6.8	5.9	0.0	4.0	5.9
(参考)全国前年同月比(%)	0.9	0.7	0.4	2.4	2.0	▲2.1	4.9	3.9

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年12月	R8年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲6.9	▲2.5	11.6	▲6.3	16.0	▲9.1	0.2	9.1
電気機械工業	▲0.6	▲5.6	▲2.6	▲0.7	▲0.1	▲6.1	2.2	1.8
輸送機械工業	6.1	7.3	2.2	15.5	▲1.4	▲1.7	4.8	1.0
化学工業	▲2.2	▲8.7	5.1	28.6	24.3	5.5	6.6	14.0
パルプ・紙・紙加工品工業	3.9	▲5.3	▲2.0	▲2.0	2.2	0.9	2.8	▲1.5
食料品・たばこ工業	8.4	3.2	▲0.7	▲3.8	11.1	15.4	5.9	16.3

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

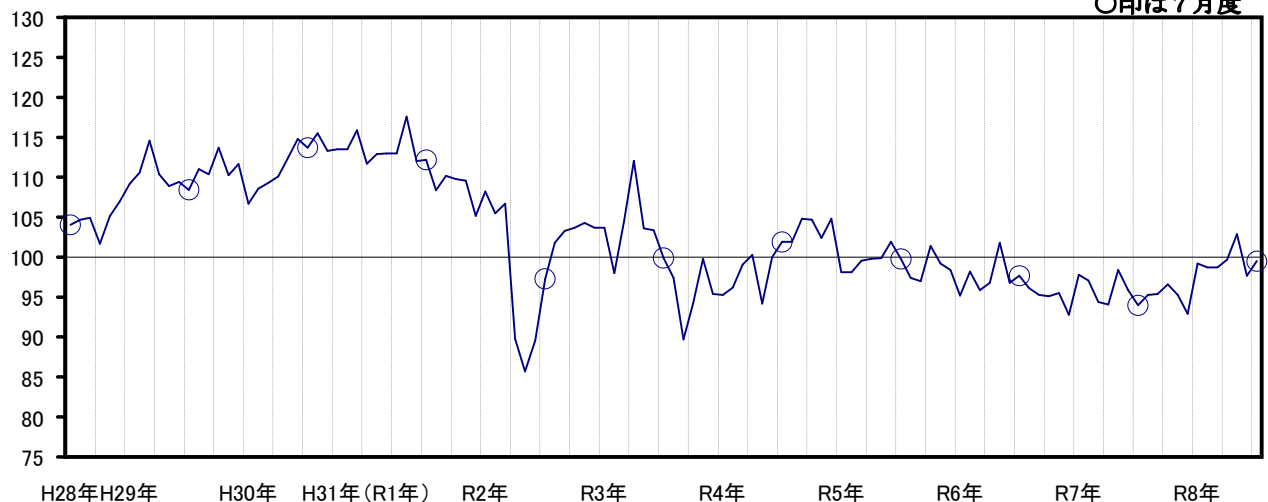
<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課

○印は7月度



(2) 鋳工業在庫指数

7 月 = 103.8

(令和 2 年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 0.9%増

* 前年同月比(原指数) : 1.1%増

<概 況>

7 月の鋳工業在庫指数(総合)は103.8(季節調整済指数)で、前月比は0.9%増と、2 か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は1.1%増と、3 か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比 1.2%減)が7 か月連続、化学(同 8.8%減)が4 か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 7.9%減)が5 か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 7.7%増)が9 か月連続、輸送機械(同 18.4%増)が8 か月連続、食料品・たばこ(同 8.6%増)が4 か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
指 数	103.4	104.7	106.3	107.6	103.3	102.6	102.9	103.8
前 月 比 (%)	▲ 1.7	1.3	1.5	1.2	▲ 4.0	▲ 0.7	0.3	0.9
前 年 同 月 比 (%)	3.8	3.0	3.0	2.3	0.2	▲ 0.7	▲ 1.3	1.1
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 2.8	▲ 4.3	▲ 3.4	▲ 5.3	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 2.2	▲ 2.0

(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
はん用・生産用・業務用機械工業	6.4	12.5	14.8	9.2	10.4	4.3	5.8	7.7
電 気 機 械 工 業	0.5	▲ 5.7	▲ 8.0	▲ 4.7	▲ 3.2	▲ 8.9	▲ 4.0	▲ 1.2
輸 送 機 械 工 業	18.5	10.0	9.4	12.9	2.8	7.1	13.4	18.4
化 学 工 業	5.9	2.7	▲ 0.9	1.8	▲ 0.4	▲ 1.4	▲ 8.8	▲ 8.8
パ ル プ・紙・紙加工品工業	6.9	6.3	6.3	▲ 6.7	▲ 9.9	▲ 7.4	▲ 9.5	▲ 7.9
食 料 品・たばこ工業	▲ 8.3	▲ 4.1	0.2	0.0	1.0	2.1	1.9	8.6

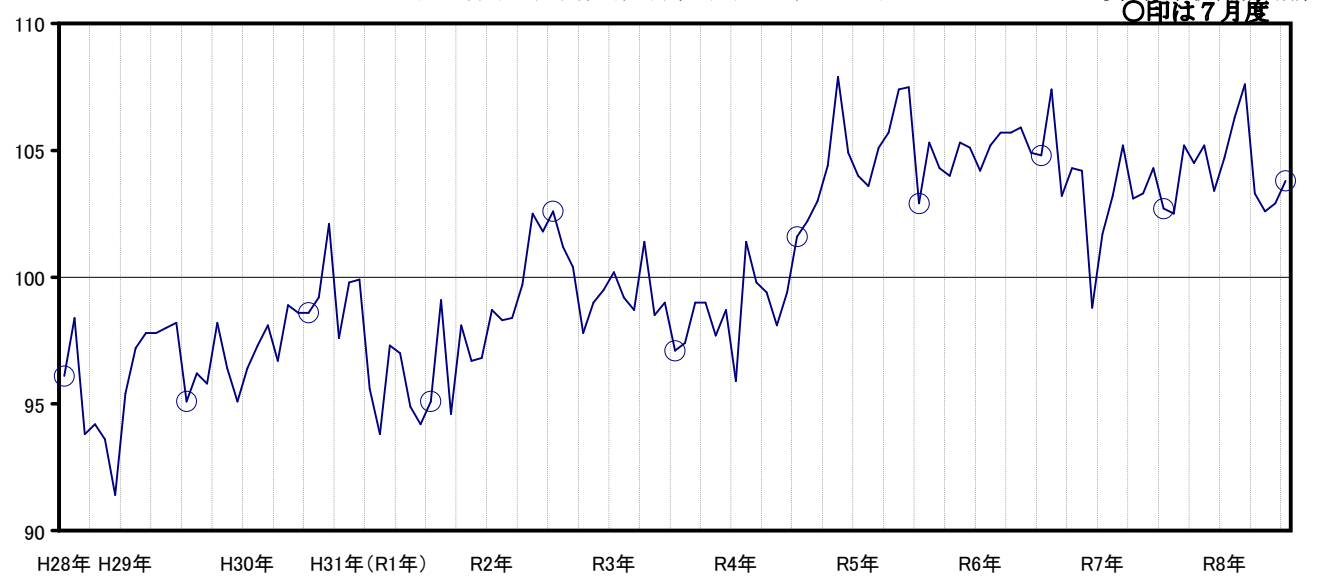
(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和 2 年=100)

<資料>県統計活用課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

7 月 = 1.10倍

*前月比（季節調整値）： 0.02ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

7月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.10倍となり、前月を0.02ポイント上回った。66か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.08ポイント下回った。

新規求人数（季節調整値）（前月比 5.0%減）は2か月連続で前月を下回った。

産業別にみると、卸売業・小売業（前年同月比 23.1%減）が3か月ぶり、建設業（同 4.4%減）が13か月連続、運輸業・郵便業（同 11.9%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、情報通信業（同 7.6%増）が2か月ぶり、医療・福祉（同 4.3%増）が3か月ぶり、製造業（同 13.7%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同 4.7%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 7 年12月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
県（受理地別）	1.09	1.06	1.06	1.08	1.06	1.09	1.08	1.10
（参考）県（就業地別）	1.20	1.19	1.19	1.20	1.19	1.20	1.22	1.23
全 国	1.20	1.18	1.19	1.18	1.18	1.17	1.18	1.18

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 7 年12月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
建 設 業	▲ 14.7	▲ 6.5	▲ 10.3	▲ 7.8	▲ 5.2	▲ 2.6	▲ 1.4	▲ 4.4
製 造 業	5.4	0.8	▲ 12.8	▲ 0.8	10.9	▲ 4.6	4.4	13.7
情 報 通 信 業	▲ 3.3	▲ 22.2	27.1	▲ 13.3	42.8	19.6	▲ 45.9	7.6
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 17.6	▲ 7.8	▲ 9.2	▲ 4.4	▲ 20.2	0.9	▲ 9.1	▲ 11.9
卸 売 業 ・ 小 売 業	118.9	▲ 5.2	▲ 29.7	144.3	▲ 43.1	42.1	109.9	▲ 23.1
医 療 ・ 福 祉	1.6	▲ 0.2	▲ 5.2	0.3	6.2	▲ 1.4	▲ 3.0	4.3
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 0.8	▲ 7.7	▲ 2.6	22.4	▲ 2.5	▲ 1.4	16.3	4.7
合 計	3.8	▲ 4.1	▲ 10.3	11.7	▲ 8.6	0.5	10.6	▲ 2.9

（注）学卒、パートタイムを除く

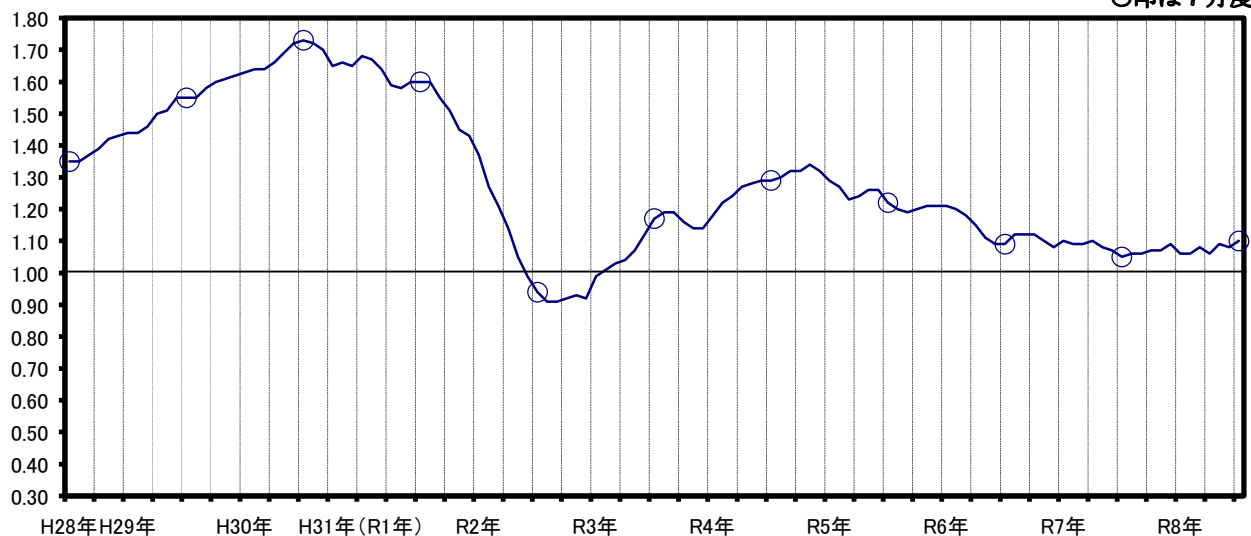
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省

○印は7月度



(2) 雇用保険受給者実人員

7 月 = 14,605人

*前 月 比: 0.4%減

*前年同月比: 2.7%減

<概 況>

7月の雇用保険受給者実人員は14,605人で、前月比は0.4%減と3か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は2.7%減と14か月ぶりに前年実績を下回った。
完全失業率(全国)は2.4%と3か月ぶりに前月を下回った。
静岡県(令和8年4~6月)の完全失業率は2.2%で、前期(令和8年1~3月)から0.3ポイント減少した。

<最近の動き>

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
実 人 員 (人)	13,497	12,833	11,991	12,636	12,271	12,674	14,668	14,605
前 月 比 (%)	0.1	▲ 4.9	▲ 6.6	5.4	▲ 2.9	3.3	15.7	▲ 0.4
前 年 同 月 比 (%)	9.9	6.7	4.1	12.7	9.4	5.1	12.9	▲ 2.7
(参考) 全国前年同月比 (%)	11.4	6.5	5.8	16.1	11.6	6.1	15.7	▲ 0.1

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R 7 年12月	R 8 年1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
完全失業率(全国) (%)	2.6	2.7	2.6	2.7	2.5	2.5	2.5	2.4

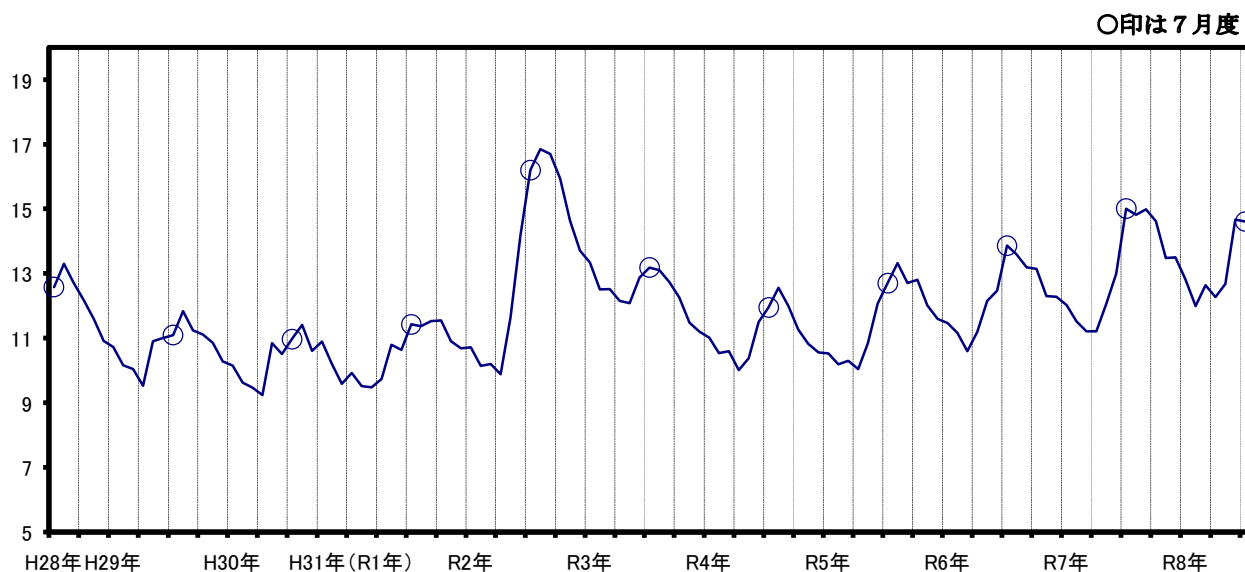
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

6 月 = 115.2

* 前月比(季節調整済指数): 3.5%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 6.3%減

<概況>

6月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は115.2(季節調整済指数)で、前月比は3.5%増と3か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は6.3%減と3か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、医療・福祉は前年と同水準であった。製造業(前年同月比14.7%増)、情報通信業(同1.3%増)がいずれも2か月ぶり、卸売業・小売業(同21.4%増)が3か月連続で前年水準を上回ったものの、建設業(同51.8%減)が19か月連続、運輸業・郵便業(同16.2%減)が5か月連続、その他のサービス業(同7.2%減)が3か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R7年11月	12月	R8年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	123.9	121.7	115.1	116.0	119.5	116.2	111.3	115.2
前月比(%)	▲0.8	▲1.8	▲5.4	0.8	3.0	▲2.8	▲4.2	3.5
前年同月比(%)	▲4.3	0.0	0.0	▲4.0	0.0	▲3.8	▲10.4	▲6.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.4	▲0.8	1.8	0.0	1.6	1.7	▲1.7	1.8

* 令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R7年11月	12月	R8年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	▲29.4	▲25.3	▲38.8	▲24.5	▲48.9	▲27.2	▲40.1	▲51.8
製造業	▲1.9	▲9.2	▲6.9	▲2.1	3.7	1.5	▲0.8	14.7
情報通信業	58.0	49.2	35.2	176.3	6.4	12.4	▲1.1	1.3
運輸業・郵便業	12.0	30.5	11.7	▲12.7	▲4.9	▲6.6	▲17.2	▲16.2
卸売業・小売業	10.9	17.2	▲16.7	8.8	▲20.3	17.5	29.6	21.4
医療・福祉	▲8.4	▲9.8	33.8	28.6	21.6	23.4	18.0	0.0
その他のサービス業	▲17.4	▲6.6	1.4	▲11.4	4.5	▲4.6	▲3.6	▲7.2
調査産業計	▲4.3	0.0	0.0	▲4.0	0.0	▲3.8	▲10.4	▲6.3

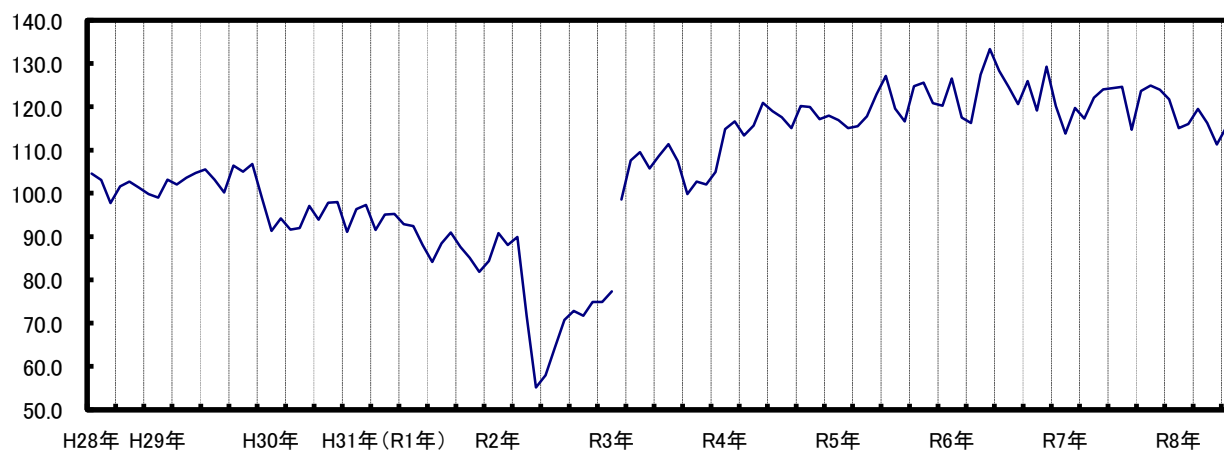
* 令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計活用課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(令和2年=100)

8 月 = 136.1

*前 月 比: 0.2%下降

*前年同月比: 7.6%上昇

<概 況>

8月の国内企業物価指数は136.1となり、前月比は0.2%の下降となった。また、前年同月比は7.6%の上昇となった。

	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
国内企業物価指数	128.6	128.6	130.0	133.6	135.1	135.8	136.4	136.1
前 月 比 (%)	0.3	0.0	1.1	2.8	1.1	0.5	0.4	▲ 0.2
前 年 同 月 比 (%)	2.5	2.2	3.0	5.5	6.8	7.4	7.7	7.6

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

7 月 = 148,009億円

*前 月 比: 0.2%増

*前年同月比: 1.9%増

<概 況>

7月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は148,009億円で、前月比とは0.2%の増加となった。また、前年同月比は1.9%の増加となった。

	R 7 年12月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
貸出残高(億円)	146,916	147,146	147,051	147,844	146,773	147,407	147,712	148,009
前 月 比 (%)	0.7	0.2	▲ 0.1	0.5	▲ 0.7	0.4	0.2	0.2
前 年 同 月 比 (%)	1.9	2.4	2.4	2.7	2.4	1.5	1.7	1.9

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

7 月 = 1.782%

*前 月 差: 0.021ポイント増

*前年同月差: 0.240ポイント増

<概 況>

7月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.782%で、前月から0.021ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.240ポイントのプラスとなった。

	R 7 年12月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
貸出約定金利(%)	1.567	1.585	1.627	1.675	1.683	1.686	1.761	1.782
前 月 差 (ポイント)	0.026	0.018	0.042	0.048	0.008	0.003	0.075	0.021
前年同月差(ポイント)	0.200	0.201	0.229	0.240	0.200	0.201	0.227	0.240

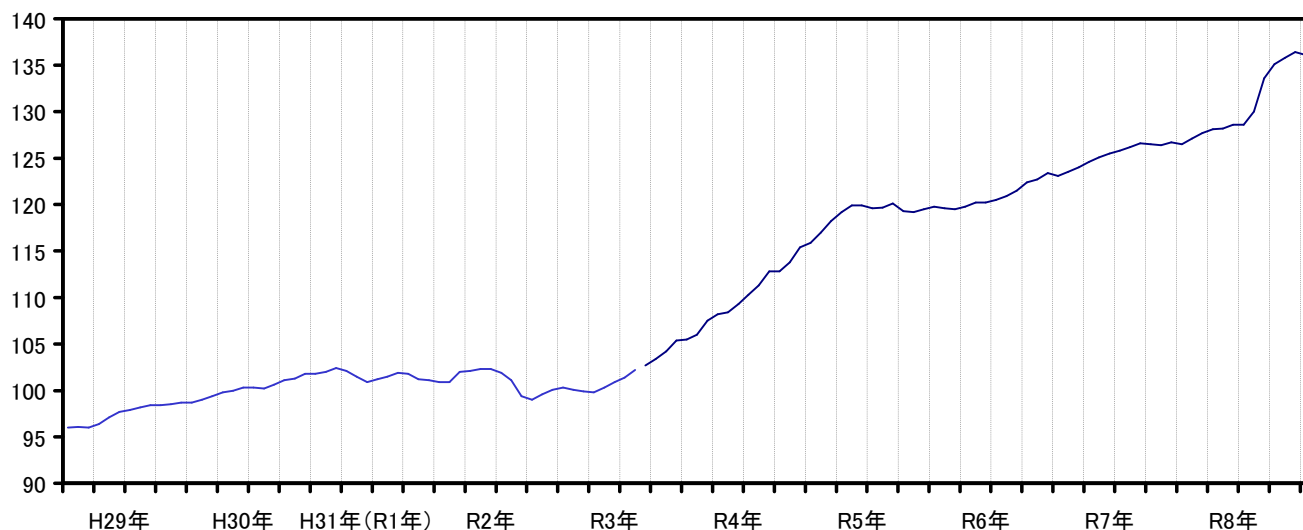
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

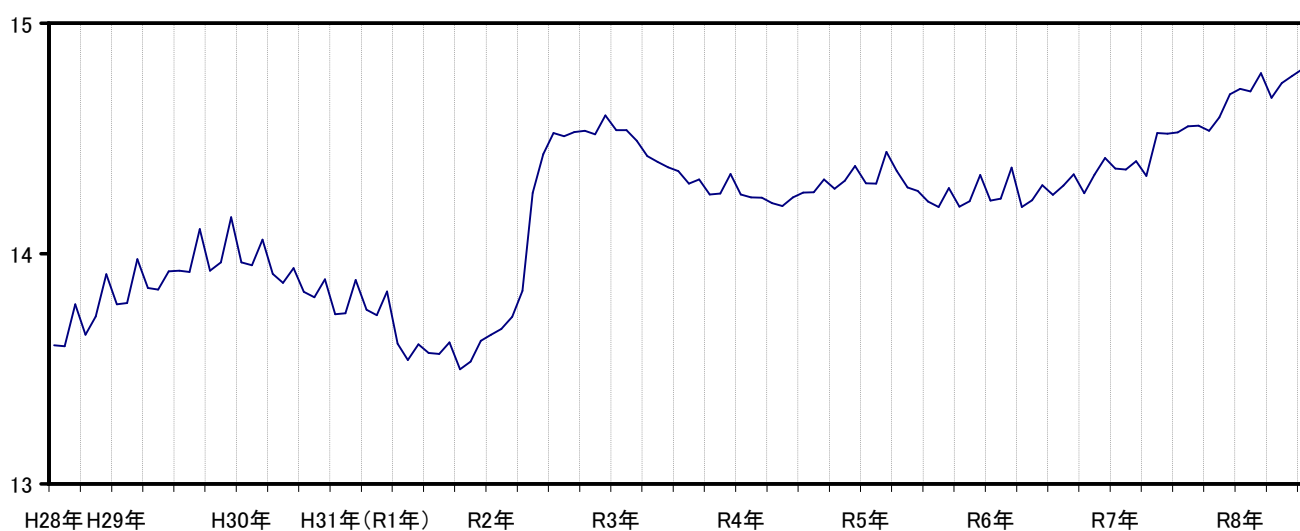
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



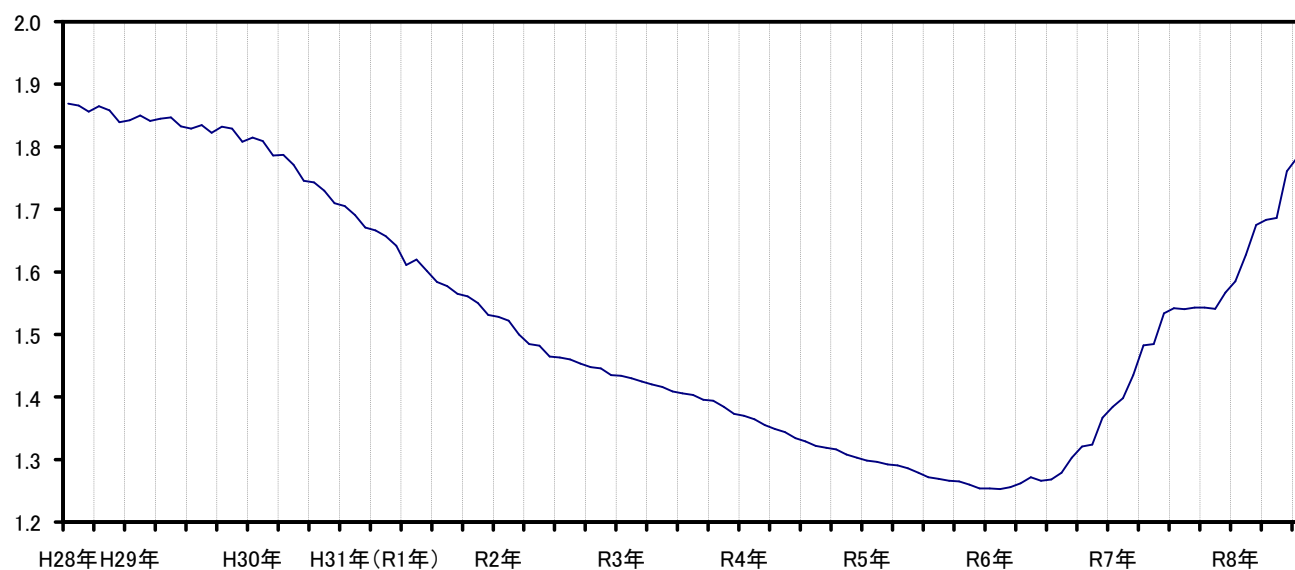
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

7 月 = 24,015百万円

*前年同月比： 7.7%増

<概 況>

7 月の保証承諾は、金額は24,015百万円（前年同月比 7.7%増）と前年を上回り、件数は1,965件（同 12.1%増）と前年実績を上回った。

	R 7 年12月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
保証金額（百万円）	20,988	14,036	17,393	27,430	13,375	17,676	28,198	24,015
前年同月比（%）	21.9	19.0	36.9	▲ 3.8	▲ 52.7	▲ 46.4	▲ 2.2	7.7
保証件数（件）	1,809	1,317	1,504	2,216	1,273	1,497	2,117	1,965
前年同月比（%）	25.3	10.7	18.4	1.5	▲ 29.7	▲ 26.3	8.0	12.1

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場

8 月 = 158.74円/ドル

*前 月 差： 3.81円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 11.07円安

<概 況>

8 月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は158.74円で、前月と比べて3.81円の円高となり、3か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
平均相場（円）	156.71	155.07	158.64	159.28	158.34	160.71	162.55	158.74
前 月 差（円）	0.83	▲ 1.64	3.57	0.64	▲ 0.94	2.37	1.84	▲ 3.81
前年同月差（円）	0.22	3.11	9.46	14.89	13.59	16.21	15.84	11.07

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

7 月 = 29件

*前年同月比： 45.0%増

<概 況>

7 月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は29件（前年同月比 45.0%増）と前年実績を上回り、負債総額は 3,202百万円（同 9.8%減）と前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が25件と全体の86.2%を占め、39か月連続で50%以上となっている。

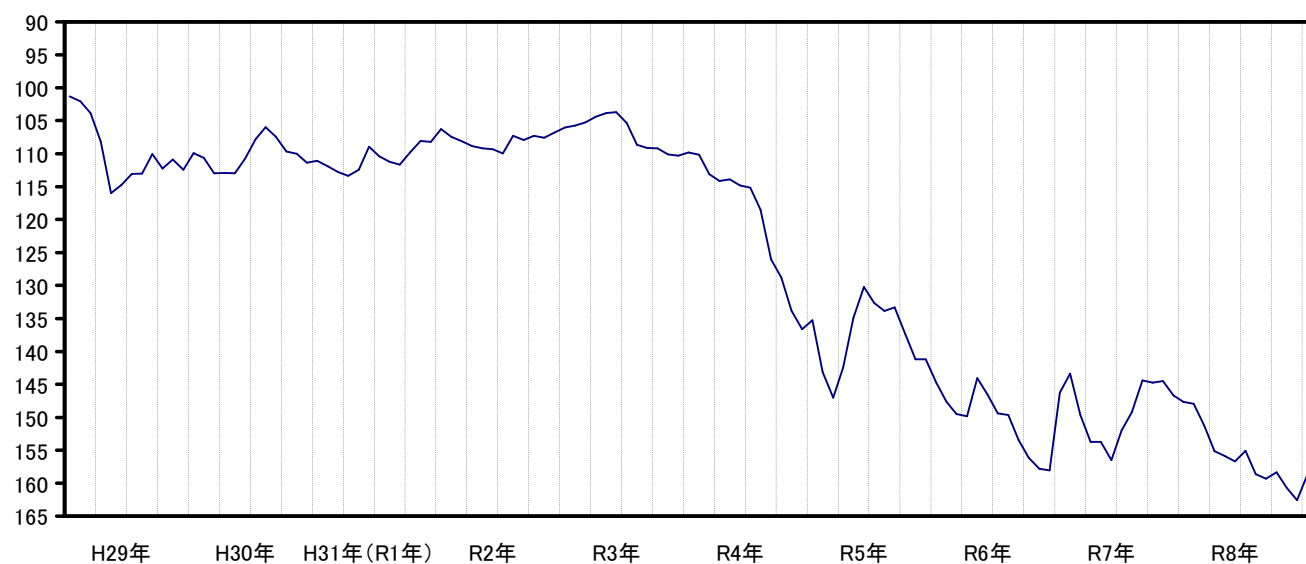
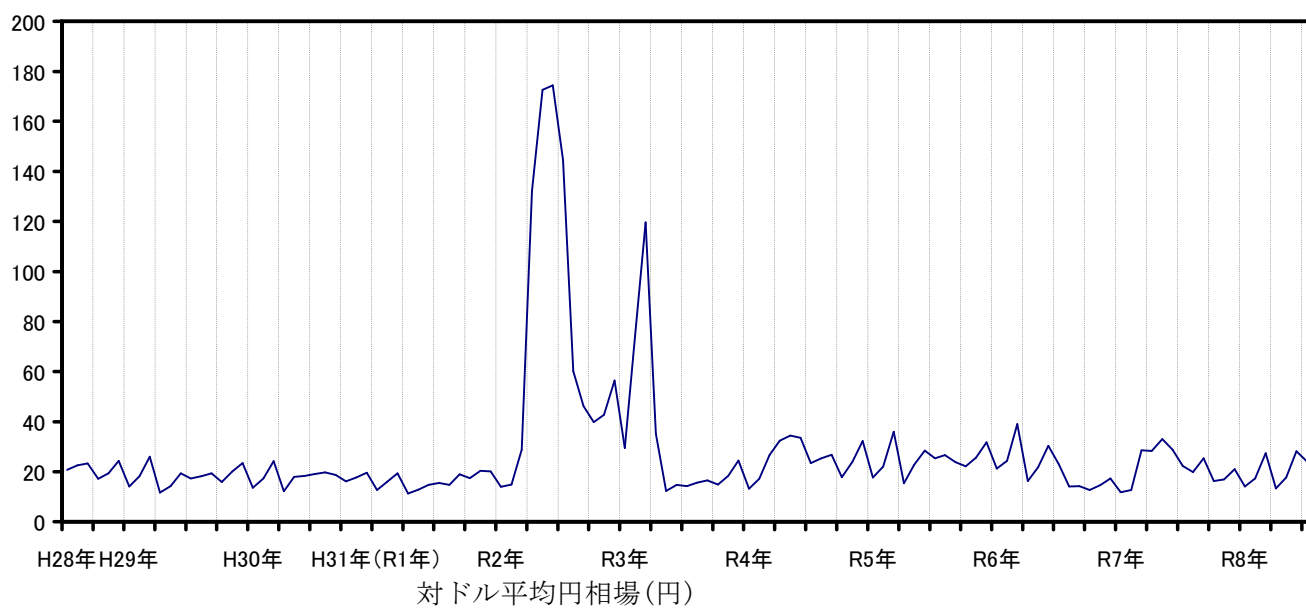
	R 7 年12月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
倒産件数（件）	27	16	17	21	19	15	23	29
前年同月比（%）	58.8	▲ 15.8	▲ 5.6	▲ 19.2	35.7	▲ 11.8	0.0	45.0
うち不況型倒産件数（件）	20	16	16	20	15	12	19	25
負債総額（百万円）	3,196	1,710	1,895	2,657	3,871	4,405	2,973	3,202
前年同月比（%）	108.9	▲ 15.0	22.7	▲ 37.1	142.7	166.5	2.7	▲ 9.8

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

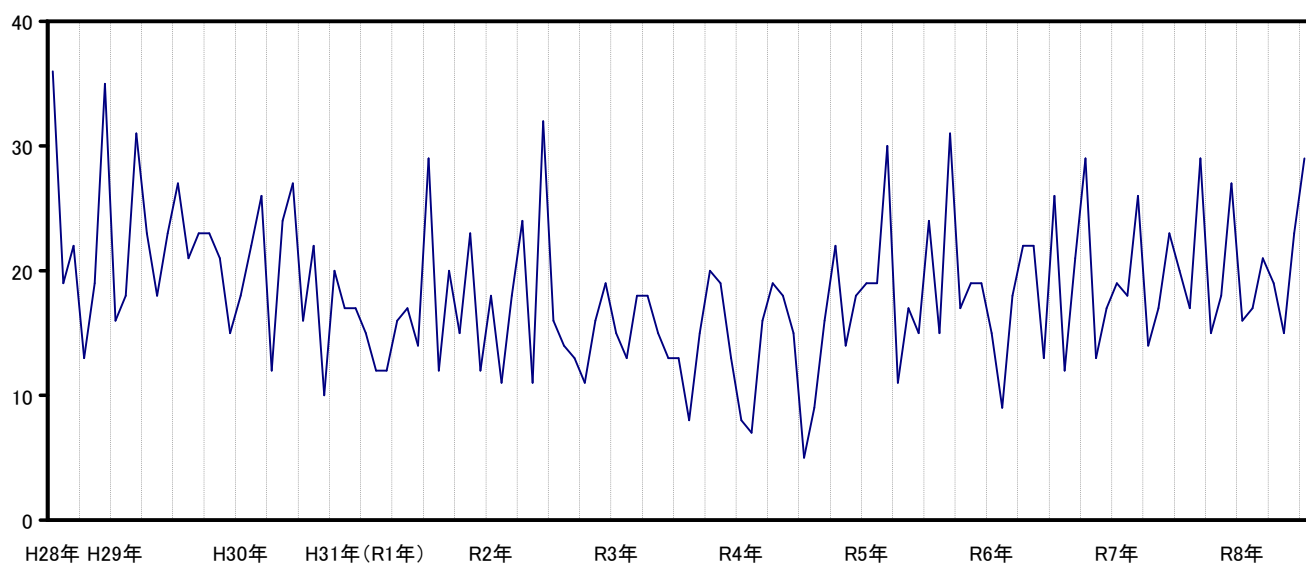
信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和８年７月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	6月の国内二輪車生産台数は、47,145台（前年同月比19.5%減）で、前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、2,086台（同 83.7%減）で、前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、7,182台（同154.0%増）で、前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,036台（同2.7%減）で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、32,841台（同13.1%減）で、前年実績を下回った。 出荷台数は、国内向けは、24,119台（同22.3%減）で、前年実績を下回った。輸出向けは、33,920台（同15.0%減）で、前年実績を下回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
自 動 車	令和８年６月の自動車国内生産台数は、776,023台（前年同月比 6.9%増）と、２か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は384,204台（同 3.9%増）と、４か月ぶりに前年実績を上回った。 国内生産は、乗用車、トラックいずれも２か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも２か月ぶりに前年実績を上回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
電気機械	７月の冷蔵庫の国内出荷額は388億円（前年同月比3.6%増）で、２か月ぶりに前年実績を上回った。国内出荷台数は363千台（同2.0%減）で、２か月連続で前年実績を下回った。 エアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,466千台（同14.1%増）で、11か月連続で前年実績を上回った。業務用は96千台（同0.2%減）で、４か月ぶりに前年実績を下回った。 携帯電話の国内出荷台数は、160千台（同14.7%減）で、５か月連続で前年度実績を下回った。うち、スマートフォンは、133千台（同12.7%減）で、９か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 83.0%であった。 ＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J
生産用機械	７月の工作機械の受注総額は、1,930億9,000万円（前年同月比50.4%増）で、13か月連続で前年実績を上回った。 内訳をみると、外需は1,398億5,300万円（同50.5%増）で、22か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが746億8,300万円（同57.1%増）で、11か月連続で前年実績を上回った。内需は532億3,700万円（同50.2%増）で、７か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本工作機械工業会

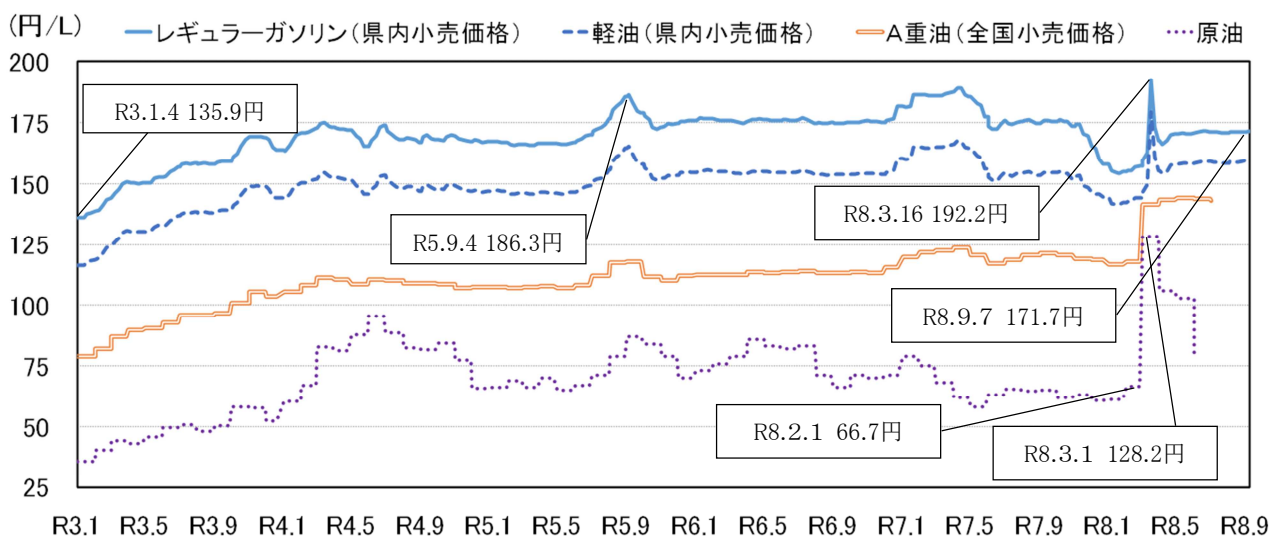
業 種	産 業 動 向
楽 器	7月の県内楽器メーカーの販売金額は、53億2,262万円（前年同月比8.5%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は、輸出向けが34億904万円（同20.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回り、国内向けが19億1,357万円（同8.2%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。 ピアノ生産台数は2,310台（同5.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。機種別では、アップライトピアノが1,356台（同12.4%増）、グランドピアノが954台（同2.4%減）であった。 また、販売台数は、輸出向けが1,583台（同18.6%増）で、2か月連続で前年実績を上回り、国内向けが719台（同9.3%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞静岡県楽器製造協会
紙	7月の紙・板紙の国内出荷高は、1,668千トン（前年同月比 1.0%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は728千トン（同 0.6%増）で、21か月ぶりに前年実績を上回った。板紙は940千トン（同2.2%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。 品種別では、主力の印刷・情報用紙が、372千トン（同4.3%増）で、21か月ぶりに前年実績を上回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、147千トン（同2.7%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。 ＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」
缶詰・飲料	7月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が1,100千箱（前年同月比10.2%増）で5か月連続で前年実績を上回った。 分類別でみると、水産缶（国内向け）が860千箱（同12.7%増）で5か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は584千箱（同12.3%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。 農畜産缶（国内向け）は241千箱（同1.9%増）で2か月連続で前年実績を上回った。 飲料缶類（国内向け）は、6,767千箱（同4.8%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回った。 ＜資料＞静岡缶詰協会
織 維	7月の広幅織物の県内生産は、586千㎡（前年同月比 0.4%減）で、21か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、548千㎡（同1.8%減）で、21か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、38千㎡（同26.5%増）で、前年実績を上回った。 小幅織物の県内生産は、15千㎡（同4.4%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合
家 具	7月の全国百貨店での家具販売額は、41億880万円（前年同月比0.2%増）と3か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、588億7,935万円（同3.0%増）と11ヶ月ぶりに前年実績を上回った。 ＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会

業 種	産 業 動 向
小 売 業	7月の県内百貨店・スーパーの販売額は、44,703百万円（既存店前年同月比1.1%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品及び食堂・喫茶で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品及びその他の商品の売上げが前年同月と比較して増加した。 西部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。身の回り品及び雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。近隣のイベントなどと連携し、来客数が増加した。 東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。夏物の売り上げやエアコンが好調だった。新規オープン店により来客数が増加した。 ＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課
観 光	令和8年6月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約26万人で、前年同月比14.4%減となった。 主な要因は、台風の接近など天候不順の影響により、屋外施設を中心に入込客数が減少したためである。 主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約67万台となり、前年同月比11.6%増となった。 ＜資料＞ 静岡県観光政策課

＜原油高の状況について＞

中東情勢の不安定化（令和8年2月末～）により、原油価格が高騰した。

これにより、レギュラーガソリンの県内小売価格は、令和8年3月16日に192.2円/Lとなった。令和8年3月19日出荷分から実施された「イラン情勢を踏まえた緊急的激変緩和措置」により、足もとの県内ガソリン小売価格は、171.7円/Lに推移している。



出典：石油情報センター、農林水産省、一般社団法人漁業経営安定化推進協会

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 7 年11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完成車生産台数(台)	26,857	26,953	27,483	22,857	22,292	22,051	17,022	20,735	20,287
前年同月比(%)	▲ 8.0	34.7	22.8	▲ 7.1	▲ 12.8	▲ 4.0	▲ 24.4	▲ 6.5	▲ 13.7
KD輸出額(百万円)	1,973	2,152	2,257	2,581	2,588	2,139	1,181	1,354	1,513
前年同月比(%)	193.6	22.1	▲ 2.3	8.6	10.5	▲ 6.0	▲ 39.8	▲ 28.3	7.7

<楽 器>

	R 7 年11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産総額(百万円)	3,011	3,258	3,622	3,496	4,097	4,146	3,508	4,263	4,309
前年同月比(%)	▲ 2.6	14.3	33.0	27.2	41.5	11.0	5.1	17.6	12.7

<缶 詰>

	R 7 年11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
食缶生産高(千箱)	925	936	912	860	964	1,029	953	1,070	1,100
前年同月比(%)	▲ 10.3	▲ 3.3	▲ 0.3	▲ 1.9	7.6	6.6	3.1	5.5	10.2
うち水産缶詰(%)	▲ 6.5	2.2	3.3	▲ 0.2	5.6	14.3	6.7	5.9	12.7
農畜産缶詰(%)	▲ 20.8	▲ 17.7	▲ 11.3	▲ 6.5	14.3	▲ 15.0	▲ 6.7	4.5	1.9
飲料缶生産高(千箱)	6,857	6,365	5,581	5,611	7,948	7,415	7,237	7,216	6,767
前年同月比(%)	0.3	8.6	17.9	2.3	17.3	13.8	8.2	8.6	▲ 4.8

<織 維>

	R 7 年11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
広幅織物(千㎡)	951	808	787	707	718	682	496	606	586
前年同月比(%)	▲ 2.5	▲ 9.7	▲ 10.7	▲ 15.8	▲ 16.5	▲ 11.6	▲ 20.1	▲ 6.4	▲ 0.4
小幅織物(千㎡)	15	18	15	15	16	15	15	15	15
前年同月比(%)	▲ 7.8	▲ 11.1	1.4	▲ 3.1	▲ 3.3	▲ 10.7	▲ 5.2	▲ 3.2	▲ 4.4

<観 光>

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月	6月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,882	2,035	1,943	1,575	16,105	20,775	1,697	1,881	1,454
前年同月比(%)	▲ 0.3	0.1	▲ 3.6	▲ 2.9	▲ 2.2	1.5	▲ 2.1	2.3	▲ 0.7
観光施設(10施設)入込 (千人)	450	560	395	378	309	502	515	561	264
前年同月比(%)	8.6	39.6	22.8	22.8	3.6	9.2	▲ 1.9	9.5	▲ 14.4
有料道路(4路線)通行 量 (千台)	594	663	635	569	572	662	581	666	520
前年同月比(%)	▲ 2.7	5.6	0.7	0.4	4.6	0.6	▲ 0.2	11.6	▲ 7.3

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去 10 年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・ 大型小売店販売額	・ 鉱工業生産指数	・ 有効求人倍率	・ 国内企業物価指数
・ 専門量販店等販売額	・ 鉱工業在庫指数	・ 雇用保険受給者実人員	・ 県内金融機関貸出残高
・ 自動車新規登録台数		・ 完全失業率	・ 信用保証協会保証金額
・ 新設住宅着工戸数		・ 所定外労働時間指数	・ 企業倒産件数
・ 清水税関支所管内輸出額			
・ 清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和8年9月号 通巻605号

発 行 静岡県経済産業部
令和8年9月

編 集 経済産業部政策管理局産業政策課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>